

知行合一

学校教育目標

夢実現
潤いと輝きにあふれる学校

芦北町立田浦中学校だより 第5号

令和3年8月30日

文責 校長 沖田 龍藏

「善を伐（ほこ）ることなく、労を施（ほどこ）すことなからん」【論語】は、「良い行いを鼻にかけたりせず、厄介（やっかい）な仕事は他人に押しつかけたりしない」人間でありたいという意味です。

「ひたすら集中&全力投球する充実の2学期に！」

お盆の時期などに長雨が続き心配しましたが、今年例年通りの40日間の夏休みでした。学校HPでも適宜紹介しましたが、中体連陸上練習や部活、補習等に顔を見せていた皆さんが大きな事故もなく、今日の始業式を迎えることができたことを嬉しく思います。さて、現在、東京パラリンピックが開催中で多くのアスリートたちの活躍に勇氣と感動をもらっているところです。コロナ禍の



逆風下、8月8日に閉幕した東京五輪においても金メダル27個、銀メダル14個、銅メダル17個というメダル数において過去最高の偉業を達成しています。前半の柔道で勢いをつけ、体操、競泳、野球、バスケットボール等、数え切れないほどのアスリート達の活躍がありました。とりわけ、皆さんと同じ中学生の西矢花選手（スケートボード）の最年少金メダルは、新世代が新風を吹き込んだとマスコミが報じ、皆さんも大いに刺激を受けたことと思います。この西矢選手も他のアスリート同様、コロナ禍における逆境の中、人知れず、日頃からわずかな時間も無駄にせず、努力した成果が実ったのだと思います。また、メジャーリーグで「二刀流」の活躍を見せている大谷翔平選手は、岩手県立花巻東高校時代に、プロ野球のドラフト会議で1位指名選手となるために、「オープンウィンドウ64」を使い、良い習慣形成のためのセルフマネジメント（自己管理）を行ったことは有名です。その中に、体づくりや技能面だけでなく、人間性を高めたり、運を呼び込んだりするために、他者への思いやり、礼儀、感謝、道具を大切に使う、ゴミ拾い、あいさつや本を読むなど具体的な目標を立て、ひたすら集中し、全力投球で努力していた姿を想像することができます。



私も休業中には、NHKで放送中の「青天を衝け」（渋沢栄一）の著書「君は何のために働くのか」等を読みました。その中でも、「物事にはすべて節目がある。一年の間には、雨も降れば、風も吹き、暑い日も寒い日も来るように、必ず変化があり節目がある。修養（学問をおさめ、品性を養い高めること）においてもこの点を心得ておかなければならない。つまり、日頃から努めるとともに、一時期を画して、特に精神を集中して修養に励むことが非常に大切なのである。」と述べてあります。中学時代はまさにその時期です。2学期は

9月の陸上中体連大会に始まり、学校経営訪問があります。10月の文化祭、11月は各教科等の研究授業による「授業公開」、12月は2年修学旅行予定等、魅力ある行事を感染症対策と教育活動との両立により図ってまいります。学校は感染力の強いデルタ株による校内でのクラスターを起さないように努めます。ご家庭での感染対策は勿論、本人はもとより家族に風邪症状や濃厚接触等があります場合は連絡をよろしく願います。「**田浦中学校HP**」で検索を随時情報発信！